

第14期Aコース（クィーンズランド州）出発レポート

□ 留学に向けて出発

第14期Aコース研修生は、オーストラリア・クィーンズランド州に向けて令和8年1月19日（月）に出発しました。成田空港では、東京都教職員研修センターの職員から、留学生活に向けた激励の言葉が送られました。

研修生は、保護者や関係者に見送られながら、東京都の代表としての自覚を胸に搭乗口へと向かいました。これから始まる長期留学に対する期待と決意が感じられる出発となりました。



<成田空港にて>

□ クィーンズランド州到着

成田空港から約9時間のフライトを経て、研修生はブリスベン空港に到着しました。到着後は専用車にて研修会場へ移動し、現地機関スタッフの案内のもと、留学生活の第一歩を踏み出しました。

□ 到着オリエンテーション

到着後は、現地留学機関のオフィスにて到着オリエンテーションが実施されました。オリエンテーションでは、現地での生活ルールや安全管理、留学における心構えなどについて具体的な説明が行われました。

また、市内見学としてブリスベン市庁舎（City Hall）を訪問し、現地社会への理解を深める機会となりました。そして、リーダーシッププログラム（Charton Brown Leadership Program）では、



<到着オリエンテーション>

これからの留学生活において求められる姿勢について学び、研修生は主体的に参加していました。研修生同士で意見交換を行う場面では、事前研修で培った力を基に、留学に対する目標や決意を共有し、「次世代リーダー」としての意識を高めていました。

オリエンテーションの締めくくりとして、各自がこれからの留学生活に向けた目標や決意を発表し、「次世代リーダー」としての意識を高める様子が見られました。

□ ホストファミリーとの対面

オリエンテーション終了後、研修生はそれぞれのホストファミリーと対面しました。

初対面では緊張した様子も見られましたが、笑顔でコミュニケーションを取ろうとする姿勢が見られ、新しい生活への意欲が感じられました。

□ おわりに

今回の出発及び到着オリエンテーションを通じて、研修生は留學生活に向けた準備を整えることができました。また、一人一人が主体的により良い留學生活を送ろうとする強い意欲をもっていることがうかがえました。

多文化の中での生活は、多くの困難を伴う一方で、大きな成長の機会でもあります。研修生一人一人が、自らの目標に向かって挑戦し、次世代を担うリーダーとして成長していくことを期待しています。



<ホストファミリーとの対面>